

## 「夢の実現に向けて」

常務取締役 山崎 英夫

戦後半世紀余りが経過した今日、日本社会は大きく変貌した。戦後全てを失った日本は、欧米に追いつけ追い越せの精神と、未来への夢と希望の志を持って、それぞれの分野において懸命の努力をし、今日の繁栄をもたらした。

当社も昭和10年にアンモニアソーダ法によるソーダ灰を創業製品として創立以来、幾多の苦難を乗り越えて、今やアジア有数のビニールイソシアネート事業とファインスペシャリティー事業を持つハイブリッドカンパニーとして名実とも存在感のある企業集団になってきた。これは、経営者の先見性のある理念と指導力、そして従業員のたゆまぬ努力の賜物である。

日本の製造業の発展、すなわち当社の発展は優秀な物造りの技術力（優秀な人材）によるものであることは論をまたないであろう。資源のない国が先進国と伍するためには、技術力で勝負するしかなく、先人の物造りに賭ける夢と、情熱と、努力により今日の我々がある事を忘れてはならない。先人の残された財産をしっかりと受け継ぎ、更に財産を増して次の世代に引き継いでいくことが我々に課せられた使命であろう。そのためには一層大きな夢を持ち、その実現に向けて、更なる技術の革新と改革に心血を注がなければならない。

夢の実現には、物造りの技術、即ち、研究開発力、生産技術力はもちろんのこと、その力を磨く鋭い感性が重要な鍵になる。

物造りとは、如何に安全に、如何に安く、如何に品質のよい物を、如何にタイムリーに造るかにある。（勿論、それを使用する人々の夢と希望につながる物でなければならない事は言うまでもないが。）この基本を認識した中で、目標をしっかりと定め、その目標を達する事無く前へ進んでいかなければならない。世の中の進歩はIT産業を見ても判るように益々スピードが増している。1分1秒が勝負を決める時代となっており、1分1秒遅れるとすべてが無となってしまふ。まさに時間軸が生命線となる。

世の中が求める時間軸の中で研究開発、生産技術の革新、改革を果たし、更なる夢の実現と、飛躍に向けて頑張ろう。